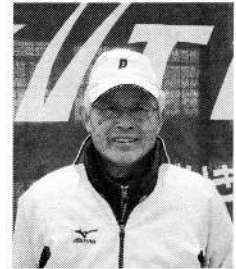




会 長 挨拶

和田 忠彦



日頃より「みやぎいきいきテニス連盟」運営に関して、会員皆様始め関係者皆様のご理解とご協力ご支援をいただき心より感謝を申し上げます。

平成26年度は、新会員26名(4~11月)を迎え会員数250名(12月15日現在)となりました。わが国の65歳以上の人口は約25%に達し、日常生活を支障なく送れる健康寿命の平均年齢も男性70歳、女性73歳になったと聞いております。私たち「みやぎいきいきテニス連盟」会員の平均年齢をみますと、全会員の平均年齢は約72歳、男性74歳、女性65歳です。「年齢別競技大会」の種目参加者数をみますと、男性70歳代、女性65歳代が最も多くなっています。入会資格年齢は、男性60歳・女性55歳ですので、就業年齢の現状からみてうなずけるのではと思います。

本年度は「第25回東北マスターズテニス宮城大会」を開催地として当連盟が運営を担当しますが、77歳以上でペアを組む「ゴールドクラス」が、3年前の福島大会から設けられました。福島大会での「ゴールドクラス」には8組がエントリーし、ご夫婦ペア1組を含め最高齢ペアは83歳と85歳の男子ペアでした。

昨年は、錦織圭プロの大活躍と飽くなき挑戦の姿を目の当たりにし感動しましたが、当連盟会員の皆さんが、各競技会で全力でいきいきと楽しくプレーに集中する姿は、次元は違いますが、会員個々の「テニス寿命」、強いては「健康寿命」更新への価値ある挑戦だと言っても過言ではないように思います。

最後になりましたが、平成27年度も関係者皆様の変わらぬご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げますと共に、会員皆様には、健康と安全管理に重々ご留意下さり、連盟年間行事に多数のご参加をご期待申し上げましてご挨拶と致します。

目 次

会長挨拶・・・・・・・・・・・・・和田忠彦・1	「会員寄稿」
競技部活動報告：	伊達氏のルーツと仙台歴史散歩・館内規之・14
年齢別ダブルス大会・・・・・・・・・・2	男の料理サークル・・・・・・・・小谷昭一・17
技量別ダブルス大会・・・・・・・・・・3	MVTF 役員会と運営・・・・・・・・和田忠彦・18
秋季ダブルス団体戦・・・・・・・・・・4	新入会員紹介・・・・・・・・・・・・・19
月例シニアテニス競技大会連絡事項・4	事務局からのご連絡：入退会手続き等・・・・20
大会優勝者の一言・・・・・・・・・・・・・5	諸行事案内と参加申込み方法・・・・・・・・21
対外部活動報告：県南ブロック交流会・・・・8	平成27年度年間行事予定・・・・・・・・・・22
県北ブロック交流会・・・・・・・・・・9	平成27年度各種ダブルス大会開催要項・・・・23
対いわきVTC親善交流大会・・・・10	平成26年度行事实績・定期総会報告・・・・25
東北マスターズテニス山形大会・・・・11	平成26年度決算・平成27年度予算・・・・26
大会参加報告：ねんりんピック栃木大会・・・・12	みやぎいきいきテニス連盟規約・・・・・・・・27
第5回国際シニアテニスカップ(タイ)・13	平成27年度連盟組織体制・編集後記・・・・28

平成26年度 活動報告

競技部 伊藤 武美

[年齢別ダブルス大会]

期日 平成26年5月17日(土) 9:00~17:00

会場 七北田公園テニスコート 8面

参加者

	今年度	昨年度
男子	44名	40名
女子	36名	40名
合計	80名	80名

	男子	女子	
110+	/	1組	(他に参加者がなく不成立)
120+	3組	8組	
130+	8組	6組	
140+	7組	4組	(女子は135+)
150+	4組	/	

○大会当日は五月晴れの絶好のテニス日和と思われたが、試合が始まって10時30分ごろから、七北田公園コート特有の強風が吹き荒れる中、「風との戦い」も考慮せざるを得ない試合展開となりました。また、参加者は男子が女子を大きく上回り、ついに逆転状況となりました。

(年齢別ダブルス大会各クラス入賞者)

男子	1位	2位	3位
120+	平間 篤 伊藤武美	庄司信雄 大場幸男	/
130+	新田英昭 松山眞水	菊池繁夫 菅原 宏	菊地昭男 井澤秀雄
140+	中村行秀 加藤精一	保志則行 渡邊貞夫	高橋捷夫 三瓶光紀
150+	加藤丈夫 北野寿一	土生 寛 太田貞夫	/

女子	1位	2位	3位
120+	櫻谷恵美子 渡部静江	川島民子 城田陽子	遠藤慶子 佐藤茂子
130+	布留川三枝子 千坂三月	中川和子 庄司清子	/
135+	梅崎千枝子 水戸真理子	郷右近勝子 工藤真理子	/

[混合ダブルス大会]

期日 平成26年7月19日(土) 9:00~17:00

会場 七北田公園テニスコート 8面 ○大荒れの天候となり、残念ながら中止となりました。

申込者

	今年度	昨年度
Aクラス	11組	12組
Bクラス	20組	23組
Cクラス	/	0組
計	31組	35組

[技量別ダブルス大会]

期日 平成26年9月13日(土) 9:00~17:00

会場 七北田公園テニスコート 8面

参加者

	今年度	昨年度
男子	38名	36名
女子	32名	36名
合計	70名	72名

	男子		女子	
	今年度	昨年度	今年度	昨年度
Aクラス	7組	7組	9組	8組
Bクラス	12組	11組	4組	7組
Cクラス	0	0	3組	3組

- 大会要項
1. ラウンドロビン方式を基準とし、複数リーグは順位決定戦を行います。
 2. 試合はノーアドバンテージ方式による5ゲーム先取とします。
 3. 各クラスごとの総当たり戦(変則リーグ戦を含む)とします。

○大会当日の天気は「15時から大雨注意報」が発令され、試合進行が心配されましたが、多少小雨があったものの、風もなく最高のテニス日和となりました。試合はノーアドバンテージ5ゲーム先取で進められ、各クラスとも熱のこもった展開となりました。特に男子Aクラスは7組総当たりのリーグ戦(21試合)としたため、かなりハードな試合が続いて、大方の予想を覆すような番狂わせも多く見られ楽しむことができました。

(技量別ダブルス大会各クラス入賞者)

男子	1位	2位	3位	4位
Aクラス	坂本政祀 松浦 真	和田忠彦 加藤精一	飯野 雅 阿部一成	土生 寛 北野寿一
Bクラス	高橋捷夫 三瓶光紀	中尾紀一 樋口義修	伊藤武美 佐藤親良	

女子	1位	2位	3位	4位
Aクラス	川島民子 城田陽子	佐藤茂子 山崎由美子	庄子和恵 菊地千鶴子	木村むつ子 水戸真理子
Bクラス	佐藤勝子 大場愉里	郷右近勝子 千葉和子	菅野志津子	
Cクラス	北野妙子 菅野志津子			

[秋季ダブルス団体戦]

期 日 平成26年11月15日(土) 9:00～17:00

会 場 七北田公園テニスコート 8面

参加者	今年度	昨年度
男子	32名	34名
女子	51名	49名
合計	83名	83名

- 大会要項 1. 参加者全員を4組(赤組・青組・緑組・桃組)に分けて、女子、男子、混合の各ダブルス3種目による団体戦を行います。
2. 試合はノーアドバンテージ方式による、1試合25分間の時間制限とします。

[成 績] 試合の勝数の多さで順位を決定しました。

	赤組	青組	緑組	桃組	勝敗	順位	チームリーダー
赤組 21名 (男子8、女子13)	対角線	14-5	10-6	6-9	30-20	優勝	高橋捷夫 木村むつ子
青組 21名 (男子8、女子13)		5-14	7-7	6-13	18-34	4位	小谷昭一 阿部真知子
緑組 20名 (男子8、女子12)		6-10	7-7	10-8	23-25	3位	斎藤昭男 渡部静江
桃組 21名 (男子8、女子13)		9-6	13-6	8-10	30-22	準優勝	佐藤親良 川島民子

本大会に85名の申し込みがあり、当日まで2名の欠席がありました。本大会は開催時期を12月から11月に早めるとともに会場もシエルコムから七北田に変更し、試合時間も5分延長して25分としました。また、使用コートも6面から8面に増加し、その結果昨年の大会に比して5ゲーム先取の成立した試合が55%(昨年30%)と大幅にアップし、選手の満足度が高まったと思われます。

試合結果については、赤組と桃組が勝数で並んだが負数の差で赤組の優勝が決まりました。また、その内容は、全試合112試合中、同点引き分けが11試合でしたが、一方的(5-0)試合が19試合もあり、対戦表作成の難しさを痛感しました。平成27年度も多数の参加をお待ちしております。



優勝の赤組



準優勝の桃組

[冬季混合ダブルス大会]

競技部 小田島 政勝

日時：平成27年1月14日(水)

場所：シェルコムせんだいテニスコート(6面)

参加者：

	Aクラス	Bクラス	
男子	13名	14名	
女子	22名	11名	
合計	35名	25名	合計60名

平成27年の新しい年になっての初めての大会は、「シェルコムせんだい」で開催されました。種目は「技量別(A・Bクラス)混合ダブルス」です。

試合は時間制限ではなく、ノーアドバンテージ6ゲーム先取とし、1人5試合たっぷり楽しんでもらえるように設定しました。この大会の特徴は、希望クラスを記入しての単独申込です。そして試合ごとにパートナーが変わり対戦相手も変わります。今回のAクラス(男子13名/女子22名)のように、男女の参加人数が極端に違うケースでも、試合ごとのパートナーと対戦相手をダブらないように決めていかなければならないので、「対戦表」の作成にはいつも汗だく・目もショボショボ・腰もガクガクになってしまいます。(笑)

大会の方は気温も少し上がったこともあって、いつもは底冷えのするシェルコムせんだいは快調でした。新入会員もたくさん参加されたため、独特の緊張感をもった熱戦が随所で観戦することができ、私自身も試合を大いに楽しむことができました。

月例シニアテニス競技大会について ……連絡事項……

競技部 小谷 昭一

1. 4月～12月の各月1回、全9回の開催となります。
2. 会場は、8月の泉パークタウンテニスクラブを除き、全て七北田公園テニスコートとなります。
3. 時間は

4月・5月	10:00～16:00
6月～10月	10:00～17:00
11月・12月	10:00～15:00

と月により終了時刻が変わりますのでご承知おき下さい。

4. 平成26年度の皆勤賞は次の9名の方でした。おめでとうございます。

木村むつ子、工藤とも江、中川和子、渡部静江、
小谷昭一、佐藤親良、庄司信雄、中村行秀、奈良征一郎

大会優勝者の一言

年齢別男子120歳以上 伊藤武美(記)・平間 篤

本年5月17日七北田公園テニスコートで行われた年齢別ダブルス大会に参加し、優勝することが出来ました。優勝できたのは偏にパートナーである平間さんのお蔭であり感謝しています。試合内容は、どの試合も接戦で私がミスを重ねても平間さんは、嫌な顔ひとつせず粘り強くつないでチャンスをものにするというパターンでした。今後も戦術を含めた技術の取得はもちろんのこと、平間さんのような強い精神力も鍛えてゆきたいと思いました。



年齢別男子130歳以上 松山眞水(記)・新田英昭

パートナーに恵まれ優勝することが出来ました。二人の合計年齢は143歳、一昨年140歳で優勝しており、今年は120歳に挑戦し3階級制覇したいものとパートナーと冗談を言っていました。果たして？ 常日頃プレーしていると思うことを2、3。

我々の試合はほとんどセルフジャッジです。そこでほんとうは失点になるプレーが目立つのは、先ずフットフォルトです(したい放題)。次はサーブをリターンしネットにボールが当たった後にフォルトとコールすることです。意識して直したいものです。マナーでは、チェンジエンドの際、自分サイドに転がってるボールを拾って、センターマーカー付近に置いておけば、対戦相手も気持ち良く次のプレーに入れるものと思います。70歳半ばとなり、人並み？に物忘れが多いと感じるこの頃、数年先にはボケない薬が開発されるとの報道がありましたが、早く市販して貰いたいものです。



[意識してとぼけていたのに「と」がとれて]

年齢別男子140歳以上 中村行秀(記)・加藤精一



直前の大会の反省から、「ファーストサーブを入れる」「なるべく深く返球する」「相手を動かす」を意識して臨みましたが、台風を思わせるような強い風の中、それどころでなく、ボールが流されてうまくヒットできないなどで悩まされ、ひたすら相手のコートにボールをしっかりと返すことに努めました。最初のゲームを取られたり、ノードの一本で取ったゲームも多々あり、結構苦戦しましたが、予選リーグ・決勝トーナメント共に全てで勝利し優勝できました。素晴らしき

パートナーの加藤

精一さんに心から感謝です。今回は、日ごろ休まず一応努力してきたことへの「ご褒美」でもあったかと思います。テニスは、私の心身の健康の源となっており、これからも少しでも長く続けて楽しんでいきたいと思っていますので、皆さま今後ともお付き合いのほどどうかよろしくお願いいたします。



年齢別ダブルス大会入賞者の皆さん

年齢別男子150歳以上 北野寿一・加藤丈夫(記)



普段ウイークデーや各種大会に参加して居ない怠け者ですが、75歳になりパートナーの北野さんから150歳以上のダブルス大会に参加資格があると言われエントリーしました。当日の対戦相手は皆さん顔見知りの方々ばかりでありあまり緊張もせずにゲームを楽しみましたが、強風下の試合は我々に神風が吹きどころか優勝のカップを頂きました。次は160歳以上の部が出来ればまた参加したいと思います。役員の方々のご苦勞に感謝いたしております。

年齢別女子120歳以上 渡部静江、櫻谷恵美子(記)

お互い集中し、負けていても粘り強く、あきらめず試合が出来、優勝する事が出来ました。ペアのお蔭です。転勤する度、テニススクールに入り仲間が出来、見知らぬ土地にも慣れ楽しい思い出を作る事が出来たのも、テニスを始めていたからこそ。ネット越しに、ボールをラケットで打ち合う球技ですが、人との繋がり、勝った時の喜びを、この年齢になっても味わえるのはテニスのお蔭です。友達・ペア・・・そしてテニスに感謝です。



年齢別女子130歳以上 布留川三枝子(記)・千坂三月



千坂さんと(ペア)を組み試合に挑みました。強風の中、ボールが思うように決まらず、2人で「こうしようか!」「こうしたらいいかもね!」と相談しながら頑張りました。おかげで一戦一戦苦しい戦いでした。優勝が決まった時は思わずヤッター……………嬉しかった。今の気持ちを忘れずに体に気を付けて大好きなテニスを続けていけるように心がけて参ります。ありがとうございました。

年齢別女子135歳以上 梅崎千枝子・水戸真理子(記)

梅崎さんとはサークル仲間、一緒にテニスを楽しんでいます。この度135歳ペアが新設されるとの事、二人で記念すべき第1回ペアとして年齢別に参加する事になりました。そして思いがけず“優勝”まで頂けてとても嬉しいです。梅崎さんが作ってくれるストロークが、私には気持ちよく、二人のコンビネーションがいい雰囲気プレーする事が出来ました。これからはずっとずっと、テニスを楽しみましょうね!



技量別男子Aクラス松浦真・坂本政祀



技量別ダブルス大会入賞者の皆さん

技量別男子Bクラス 三瓶光紀(記)・高橋捷夫

今回は、まさに“たなぼた”の優勝でした。というのは、予選で取得ゲーム率が全く同じで、たまたま私どものペアの合計年齢が多いため決勝進出となり、結果として優勝してしまいました。

これも私のテニスの師匠でもあり、百戦錬磨のパートナーの高橋さんの巧みなテクニックと粘り強さに支えられたからこそでした。

私は、テニスを50歳代の後半言わば60の手習いで始めましたが、今回の優勝は、今後のテニス人生の大きな励みにもなりますし、さらに80歳代で今なお矍鑠として若々しく意気軒昂にプレーしている諸先輩を目標に精進して行きたいものです。また、優勝カップにより孫たちに対して“ジージ”の奮闘ぶりを誇示できたことも大きな成果でした。いきいきテニスに感謝！！感謝です。



技量別女子Aクラス 城田陽子(記)・川島民子



「よし!!今日もがんばるぞ」と、気合を入れてのぞんだ当日、初戦に4-5と負けこし気持ちがぐしゅんとしぼみかけた時「楽しくがんばろう」と、(ここがダブルスの良い所で一人じゃない、声を掛けてくれるペアがいる)いつも冷静に引っばってくれる川島さんに励まされ元気をもらって、その後一つ一つ集中して挑む事ができました。まさに勝敗は時の運、勝負は紙一重で今回優勝する事ができとっても嬉しいです。ありがとうございました。

最近試合数が多くなると足がつる様になりました。これって年齢と関係あるでしょうか。長〜くテニスを楽しめる様に体づくりに気を付けて頑張りたいと思います。

技量別女子Bクラス 佐藤勝子・大場愉里(記)

昨年秋にいきいきに加入させていただきました。大会参加は今年が初めてで年齢別、ミックスダブルスとエントリーはしたものの天候などの諸事情で残念ながら参加できず。

そこで技量別、佐藤勝子さんにお声を掛けていただき参加の運びとなりました。当日は、実にハラハラ、ドキドキの連続。対戦相手の方々は皆さんとてもお上手で多くを学ぶ事となりました。

優勝に当たっては、勝子さんの適切なアドバイスと、ここと言う時の決めのお陰で本当に楽しい一日をありがとうございました。

これからも、長くテニスが続けていけるよう努力して行きたいと思っています。



技量別女子Cクラス 菅野志津子(記)・北野妙子



9月13日の技量別大会の日は、朝から晴天に恵まれたテニス日和でしたが、ここ数年大会にはご無沙汰の私には暑さも厳しく感じる一日でした。ペアの北野さんは、何時もいい成績を残していらっしゃるの、足を引っ張るのも最小限度にとの思いで、久々に緊張を感じるゲームをしました。

結果は思いがけず優勝と言う嬉しい賞を頂きまして、さらに楽しく心地良く一日を過ごす事の出来ましたペアに感謝です。そして一日大会運営をして下さいました役員の皆様もご苦労様でした。

平成26年県南ブロック交流会

満開のサクラの下で

星 将博

平成26年4月16日いきいきテニス連盟県南ブロック交流会が岩沼市グリーンピアテニスコートで行われました。(平成19年5月に始まった県南交流会は今年で8年目になります)かねてより参加者から桜の満開時期に合わせて開催して欲しいとの要望があり、満開時期を予測しての実施となりました。

「写真は満開の桜の下で、笑みを湛えた参加者の方々です」

参加者42名で、試合は県南ブロック交流会色摩会長が(厳正に)抽選、その結果を基に男子ダブルス11、女子ダブルス10、ミックスマックス15試合が組み、試合形式は6ゲーム先取ノーアドバンテージで行われ、参加者は県南に仙台より男性3人、女性3人の協力(強力)助っ人をお願いし、仙台対県南の対抗戦が行われました。

試合が始まれば、笑いと歓声の中、集中した熱戦が行われました。これまで雪と寒さと強風で、テニスには悪天候が続きました(参加者の皆さんから練習不足の声がきかれました)が、大会1週間前頃から好天に恵まれ、春が一举に訪れ一斉開花になったようです。

昼には自前の「だんご」ならず弁当を広げ、和やかな交流・交歓が行われました。ただ今年では会場のグリーンピアのサーフェイスが新しくなり、微妙にバウンドが変化し、時折春風も加わり、さらに変化し、多少悩みながらのプレーとなったようです。

試合結果は、男子Dが2(仙台):9(県南)、女子Dが5(仙台):5(県南)、混合Dが8(仙台):7(県南)、合計14(仙台):22(県南)で県南が勝利しました。

県南の勝利は初めてのことです。「イレギュラーの勝利と言われぬように、次回も勝ちに行きます」とは会長のことばでした。

なお、多くの方々から「次回もさくらの満開時期に開催してください」との要望が寄せられており、平成27年度も同時期に開催するよう、コート確保を進めることになりました。



平成26年県北ブロック交流会

菊地 昭男

日 時 平成26年8月28日(木)

場 所 松島町高城運動公園

参加者 総数 52名(県北地区24名、仙台地区28名)

県北ブロックでの交流会も今回で9回目。昨年同様、松島町高城運動公園(コート4面)にて8月28日(木)開催されました。

イベント開催に当たり、悩みの種は当日の天候でした。開催か、中止か、今回は朝からの曇り模様、地域によっては判断の難しい天候でした。雨の降っている所、曇り模様など各人各様の判断で高城運動公園に集合しましたが公園内は雨、実施も危ぶむ状況でした。

集合時間9時30分、試合開始10時の予定でしたが、小雨の中30分遅れでスタート。傘をさしながらの観戦でしたが、空模様も次第に良くなり、絶好調とはいかないまでも今回も昨年同様一試合20分の時間制限で行われ、仙台チーム対県北チームの対抗戦方式で行われ(仙台チームからの人的支援)、対戦結果は、試合総数47、仙台チーム31勝、県北チーム16勝と、昨年同様仙台チームの圧勝の結果でした。

県北ブロック交流会は食べてテニスを楽しむのがモットーでしたが、真夏でもあり豚汁はないだろう、とのことで中止しましたが、皆様からの差し入れ等もありまして皆さんの期待に添えられたものと思っております。

また交流会進行に当たり、多数の方々からの御支援(差し入れ等)を頂きありがとうございました。(特に石巻ローンテニスクラブからは毎年ご支援頂いております)

今年はさらなる交流会にしたいものと考えております。

よろしくお願い致します。



第27回対いわき VTC 親善交流大会

広報部

日時：平成26年9月4日(木)～5日(金)

場所：グリーンピア岩沼 (モンタナリゾート泊)

参加者：52名 [いわき17名(男子3、女子14)、みやぎ35名(男子14、女子21)]

昭和62年9月に第1回がスタートして早27回目。今回はみやぎの主催で、グリーンピア岩沼で開催されました。天候不順で傘マークの多い週間天気予報を見ながら当日の天候を気にしていましたが、初日は曇り、2日目も昼頃一時にわか雨が降ったものの薄日もさず暑い一日となり、予定通り試合を消化出来ました。

初日は男・女ダブルス、2日目は混合と女子ダブルスが行われ、1日4、5試合とハードな2日間でした。対抗戦は男子の人数バランスから女子ダブルスと混合ダブルスの紅白戦とし、ホワイトボードには新聞紙上をも賑わせた夏の全国高校軟式野球選手権大会準決勝戦(延長50回、4日目でやっと決着)のスコア表を思わせる横長の戦績表が貼りだされ、対抗意識もヒートアップしました。成績は初日の女子ダブルスは「いわき」の20勝10敗2分、2日目の混合・女子ダブルスは「いわき」の23勝22敗2分となりました。

幹事さんの「おもてなし」の苦勞が滲み出た交流大会となりました。

〈1年ぶりの再会〉

すばらしいプレー、笑い、にぎやかな試合。そのままのエネルギーで、宴会に突入。演奏に合わせて、【美・魔女】のコーラス、ボール早渡し、各々のテーブルで、笑い声。そして二次会、皆さん、何とタフなんでしょう！ 明日のプレーに影響は……………イエイエ、昨日のアルコールなど、どこ吹く風。試合になると、素晴らしいプレー続出。宮城の皆さん、今年は9月3日(木)、4日(金)に「いわき」で開催です。

「いわき」の皆さん、またお会いしましょう。



第24回東北マスターズテニス山形大会

広報部

期日 平成26年10月2日(木)～3日(金)

会場 山形県総合運動公園テニスコート(18面)

東北6県持ち回りで開催されている東北マスターズテニス大会。

第24回目の今回は、山形県シニアテニス連盟の主管により天童温泉に近い山形県総合運動公園テニスコートで開催されました。

参加者は176名(男子106名/女子70名)(青森県4/4、岩手県10/4、秋田県18/6、福島県19/25、山形県37/15、宮城県18/16)と、前回福島大会より30名程少ないものの盛会となりました。

試合は、男子はゴールド、150歳～120歳以上の5種目、女子は140～120歳以上(ゴールド、110歳以上は不成立)の3種目で、6ゲーム先取・ノーアドバンテージ/40分打ち切り、各ブロックのリーグ戦で行われました。当初予定されていたブロック上位2組による決勝トーナメントは取り止めとなり、男子140歳以上(2ブロック)、女子130歳・120歳以上(各2ブロック)については、それぞれのブロックでの成績で順位が決定されました。

宮城からは、男子ゴールド2組、150歳以上1組、140歳以上5組、120歳以上1組、女子140歳以上1組、130歳以上3組、120歳以上5組がエントリーし、熱戦を繰り広げました。

宮城の上位入賞者は次の通りでした。

男子ゴールド(9組)	準優勝	土生 寛・村上 實
男子140歳以上(A7組)	3位	菊地 昭男・加藤 精一
男子140歳以上(B7組)	3位	小谷 昭一・奈良 征一郎
女子140歳以上(6組)	準優勝	酒井 倭子・菅野恵美子(福島)
女子130歳以上(A8組)	3位	千葉 みち子・山崎 由美子
女子120歳以上(B7組)	準優勝	水戸 真理子・佐藤 茂子

初日の試合終了後は天童温泉「滝の湯」で懇親会があり、大会委員長のご挨拶に始まり年長者の表彰、皆で輪になっての花笠踊り等時間があつという間に過ぎ、最後に新たに制作された「大会旗」の次回開催県への引き継ぎが行われました。大会関係者の皆様どうもありがとうございました。

次回平成27年は宮城の当番で、9月16日(水)、17日(木)仙台市泉総合運動場泉庭球場とシェルコムせんだいで開催される予定です。



ねんりんピック栃木大会

片平信行

日 時 平成26年10月4日(土)～7日(火)

会 場 栃木市総合運動公園 テニスコート

出場選手

	宮城県	仙台市
男子 70 歳	和田忠彦・菊池繁夫	坂本政祀・松浦 真
女子 60 歳	渡部静江・佐藤勝子	布留川三枝子・千坂三月
男子 60 歳	片平信行・萩川 正	上野宏治・佐久間芳二
監 督	渡部静江	坂本政祀

宮城県・仙台市チーム成績

10月5日(日)ラウンドロビン方式(7ポイント先取)の予選

宮城県 0-3	大分県	仙台市 2-1	静岡市
宮城県 3-0	和歌山県	仙台市 2-1	沖縄県
宮城県 0-3	東京都B	仙台市 2-1	山梨県

(3位) (1位)

※雨天のため各順位毎のトーナメントは中止

10月4日(土)は宇都宮市の栃木県総合運動公園陸上競技場での総合開会式に参加。地元の小学生と一緒に入場行進。森昌子の「先生」や舟木一夫の「高校三年生」の歌が懐かしく感じられました。

10月5日(日)は栃木市総合運動公園テニスコートでいよいよ試合開始。台風の影響で雨のため試合が7ポイント先取、予選・順位



リーグ戦を1日で消化する日程に変更されました。

宮城県選手団は、百戦錬磨の和田・菊池ペア、手作りのウェアを用意しての渡部・佐藤ペア、そして、初陣の片平・萩川ペアです。

(和田さんはなんと8回目の出場です)

第一試合は大分県。選手紹介・挨拶が終わると、渡部監督の手からなんと仙台の菓子折りが相手監督に手渡されました。(心温まる配慮に脱帽)しかし、相手チームはこのお菓子に目もくれず雨の中ボールに集中し、接戦の末、3-7、5-7、6-7の0-3で敗退してしまいました。とくに第三試合では6-5とマッチポイントを握りながら、チャンスボールをボレーミスして初陣を飾れなかったことは残念でした。

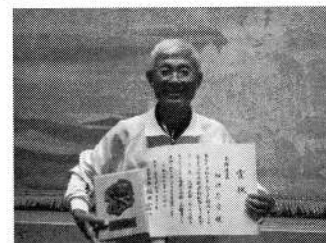
第二試合は東京都B。雨が強まる中根気よくラリーをするものの、1-7、3-7、2-7の0-3で完敗。東京強しでした。

第三試合は和歌山県との予選最終戦。雨がさらに強まりコートに水たまりができ、一時中断して水かき。渡部監督の「トン汁もいっぱい食べたし、雨にも負けず・台風にも負けず頑張るぞ」の檄が功を奏してか、7-1、7-3、7-2の3-0と快勝しました。

(トン汁は会場で無料提供。雨で冷えた身体には何よりの心温まるご馳走でした)

全員が1勝し予選3位となり、午後のリーグ戦へ意気揚々となったところで雨がさらに強くなり、大会自体が中断となってしまいました。(仙台市チームは3勝で予選1位)

今回の大会は台風の影響で予選のみとなり、消化不良の感が否めませんでした。選手の殆どがいきいきテニス連盟の会員(宮城県チーム・仙台市チーム)であることはすばらしいことです。また、和田さんが高齢者賞を受賞しました。テニスは生涯スポーツです。大会の関係者に感謝するとともに、1年1年年輪を重ねながら健康に留意し精進していく覚悟が新たになった大会でもありました。



第5回国際シニアテニスカップ(タイ・バンコク)に参加して

松浦 真

平成27年1月31日～2月3日にかけて、タイのバンコクで行われた第5回国際シニアテニスカップに参加しましたのでその報告をさせていただきます。開催要項の詳細は日本シニアテニス連盟のホームページ(<http://www6.ocn.ne.jp/~jsta/>)に掲載されていますが、要約すると

種目：女子 50・55・60・65・70歳ダブルス 男子 60・65・70・75歳ダブルス

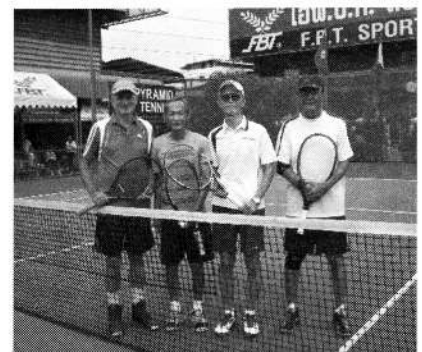
日程：1日目試合、2日目試合と夜のパーティー、3日目が市内観光とクルーズでした。

今回の参加者は15カ国、312名でこのうち日本からは女性32名、男性17名の計49名でした。この大会について私は以前から気になっていて、日本からも毎年数十人が参加していることを知り、一度は参加したいと思っていました。今回、参加を決めてから、周りのテニス仲間にも声を掛けてみましたが、大概是“なぜタイまで行ってテニスをしなければならないの？”と取り合ってもらえず、パートナーが決まりませんでした。やむを得ず主催者に連絡し、同じくパートナーを探していたマレーシアの方を紹介していただき、ネットでやり取りをしてペアを組むことになりました。

さて、出発した日は仙台に大雪が降る天候でしたが、タイ・バンコクは34℃と30℃以上の温度差がありました。大会前日に主催者が準備したバンコク国際空港の敷地内にある五つ星ホテル「NOBOTEL」に宿泊しました。パートナーのDanielさんとその日の夕食時に初めてお会いしました。

大会初日は特に開会式もレフリーからの試合進行やルールの説明もなく、いきなり試合が始まりました。メインコートの前には屋台が備えられ、タイ風の焼き鳥、バナナや氷水につけた各種ソフトドリンク等が大会開催中無料で振る舞われていました。聞くところによれば、これらは、主催者のチャラシップ(Chalathip)さん個人の寄付によるものだそうです。またコートの隣にはタイ式マッサージ室があり、日本円にして600円程度で1時間念入りにマッサージをしてもらえ、試合後にマッサージを受ける人でにぎわっていました。コートの周囲はこのように和やかで華やいだ雰囲気でした。一方、コートの中では、外見上も本当にその年齢かと思わせる選手たちの若々しいプレーが目立ちました。ハードコートの上は40度近い暑さでしたが、75歳以上の選手でも年齢を感じさせないファイトあふれるプレーを繰り広げていました。私たちのチームはDanielさんの年齢のため65歳代のグループにエントリーしました。65歳代は4グループ(1グループ5チーム編成)でリーグ戦を戦い、グループ1位のみが決勝トーナメントに進む、ラウンドロビン方式でした。

私たちの第1試合の対戦相手はイタリアとタイの方のペアでした。写真では試合に入る前にこやかな表情をしていますが、試合に入ると状況は一変し、私たちは二人ともプレーにぎこちなさが目立ち、ミスが多かったのに対し、対戦相手はスピードがあるわけでもないが、冷静でつけ入る隙を与えてくれません。結局、なすすべもなく0-6の完敗で終わりました。我がペアはその後も調子を上げることができず、結局、グループ内で最下位の結果となりました。今大会には過去にナショナルチームに所属していた選手も10名近く参加しており、全般に選手のレベルは私が予想していた以上に高いものでした。日本の男性チームは私から見ればかなり高いレベルでしたが、結局優勝したチームはゼロでした。大会2日目の競技が終了した後、ホテルの大会場で表彰式を兼ねたディナーがありました。ここでの一番の盛り上がりは、ご婦人選手達によるミュージカル・ダンス(?)でした。ラケットをギターに見立て、セクシーな踊り見せるご婦人方のパワーに圧倒されました。大会最終日にはバンコク市内観光とチャオプラヤー川でのディナークルーズがありました。クルーズでの美しい夕日と川べりにライトアップされた古い建造物の景色とともに、各国の選手達が披露してくれたお国の歌の数々が印象的でした。肝心の私のテニスの試合内容は散々でしたが、大会中、日本はもとより外国の方々とテニスを通して親交を深めることができたことが、かけがえのない思い出となりました。来年はタイのプーケットで開催予定です。できれば来年も参加したいと考えています。一緒に参加していただけるパートナー(70歳代)を募集しています。



第一試合、対戦相手との記念写真
右側の二人が我がチーム。

【会員寄稿】

伊達氏のルーツと仙台歴史散歩あちらこちら

舘内規之

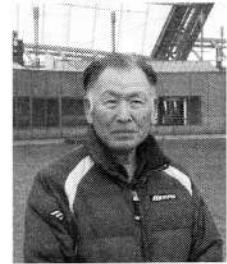
1. 伊達氏のルーツを訪ねて

「温故知新」という言葉にならい『故きを温ね新しきを知る』、先祖が仕えた伊達氏のルーツを訪ねてみようとして以前から計画していました。

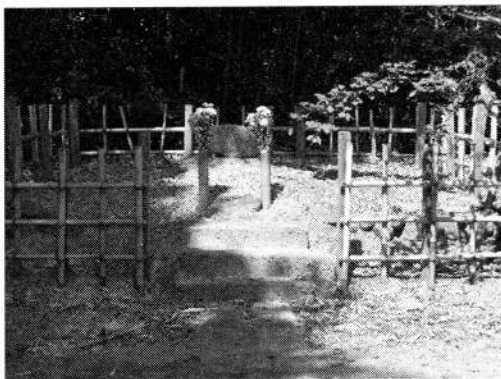
最初訪ねたのは福島県伊達郡桑折町の伊達氏の始祖「伊達朝宗」の墓所です。伊達朝宗(ともむね)は、清和天皇の流れをくむ「藤原山蔭流」の10世で、常陸国真壁郡伊佐荘中村(現在の茨城県桜川市真壁町真壁あたり)に居住していた「伊佐」もしくは「中村」氏を名のっていた。

「朝宗」の代の、文治5(1189)年「厚樫山の戦い」(現福島県伊達郡国見町厚樫山)で、平泉軍「藤原国衛」を撃破する軍功を認められ、福島県伊達郡一帯を与えられた。当初城は、福島県伊達市保原町上保原字丹路盤「高子岡」(たかこがおか)に構えた、この『高子岡館(城)』が『伊達氏発祥の地』とされているようです。

高子岡城に守護神「亀岡八幡神社」が祀られており、城を伊達市梁川町に移した後、亀岡八幡宮も柳



高子岡城址(中腹に「亀岡八幡宮」)



伊達氏始祖伊達朝宗の墓所

川町に遷し、現在仙台市青

葉区川内亀岡町に鎮座の「亀岡八幡宮」は天和初年(1681年頃)伊達綱村のとき福島県伊達市梁川町の亀岡八幡宮を仙台市同心町(現青葉区錦町辺)に遷座したが、その後現在地に遷したようです。

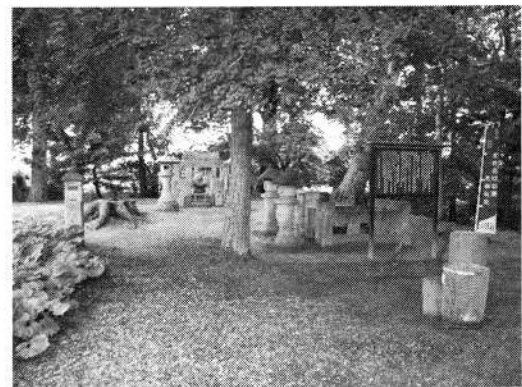
伊達氏の始祖「朝宗」は、正治元(1199)年10月2日享年71歳で没し、法号を「念西」と称し墓所は

福島県伊達郡桑折町万正寺字下万正寺に所在しています。

2. 伊達氏16世「輝宗」と二人の「政宗」

仙台藩初代藩主伊達政宗の父伊達輝宗公の墓所、山形県置賜郡高島町夏刈の臨濟宗慈雲山「資福寺跡」を訪ねました。資福寺跡は本堂などの寺の面影はなく、資福寺があった寺地と思われる杉林、周囲は住宅地と農地で伊達輝宗公の墓石と石灯籠、傍に大殿の非業の死を遂げたことを悲しみ殉死した重臣(家老)遠藤基信夫妻の墓石、各墓前に墓参焼香した形跡や萎れた墓花が手向けられていました。さらに驚いたのは、「伊達政宗」の墓石があったことです。

よく見ると「9世伊達政宗」と標柱に記され、同姓同名の「伊達政宗」が二人いたことです。伊達家の家職作並清亮という人が伊達家古文書等財産等を



山形県高島町の資福寺跡
正面奥に伊達輝宗公の墓所



伊達氏 9 世伊達政宗夫妻の墓所

整理中、「9 世伊達政宗」は湯ノ原の戦いで戦死しており、「公墓」は資福寺跡ではなく他の場所にあるのではと高島町民の協力を得て「公墓」調査の結果、高島町野手倉の山裾「伊達氏 9 世伊達政宗夫妻」の墓を発見したという、その墓所を訪れました。付近にお寺らしい建物がなく、道端に「歴史の町高島」の幟に誘われるがまま進むと高島町立時沢小学校西方の山裾に墓地があり、墓地の一郭に数段の石段奥に高さ 2メートルほどの供養塔 2 基とその奥に墓石 2 基があり、私は伊達氏始祖「朝宗公」墓参以来「線香」を持参し、墓前に香を焚き合掌した後写真を撮るようしております。

3. 仙台城城郭の「虚空蔵堂」と「千躰堂」

青葉山には、江戸時代以前から「城」があり、初めは「千躰(体)城」後に「千代城」と称し、鎌倉時代末期から室町時代中期にかけて島津氏が陸奥守として居城し、室町時代末期には国分荘の国人「国分氏」が居城したと伝えられています。

江戸時代に伊達氏 17 世伊達政宗の叔父(政宗の父輝宗の弟)「盛重」が国分家を継ぎ「国分能登守盛重」が城主でしたが、政宗と対立し盛重が出奔すると「千代城」は廃城となりました。伊達治家記録に『昔時、この城の傍に「千体仏」あり、因って「千体」と号す。その後文字を『千代』と改む』とあります。この城とは「千代城」(後の「仙台城」)のことです。「千体仏」とは『千体観世音菩薩』を祀った『千躰堂』のことで、お堂には千体の観世音菩薩が祀られてありましたが、何時の時期か 2 体だけがなくなったという。しかしその仏像は現在青葉区上杉 4 丁目 4 の 50 光禅寺寺付近の「延命地藏尊」と、他の 1 体は若林区上飯田 3 丁目 1 5 の 1 「萬蔵寺」に祀られております。

(1) 丑寅「虚空蔵堂」の別当大満寺と「千躰堂」

千代城の城郭に大満寺、光禅寺、玄光庵、長泉寺、龍泉寺の五カ寺があり、大満寺は「虚空蔵堂」の別当で、主塔は「虚空蔵堂」であったため、この城を「虚空蔵城」とか「虚空蔵楯(館)」と号していたという。虚空蔵堂の別当寺大満寺や千体観世音菩薩像の「千躰堂」、「玄光庵」、「光禅寺」などの五カ寺は、伊達政宗が仙台城普請の際他の場所へ移され、伊達政宗は、慶長 5 (1600) 年 7 月青葉山に「仙台城」築城のため名取郡北目城〔現仙台市太白区郡山 4 丁目(仙台市立郡山中学校入口)付近〕に入り、仙台城の築城の縄張り・普請を始めました。



向山 4 丁目に移された「虚空蔵堂」



「千躰堂」

仙台城築城に際し、五カ寺はそれぞれ城郭外に移され、大満寺は太白区向山 4 丁目の現在地に、「虚空蔵堂」と「千躰堂」は瑞鳳殿のある「経ガ峰」へ遷され、その後初代藩主政宗公霊廟「瑞鳳殿」造営のため、2 代藩主忠宗公霊廟「感仙殿」のある場所へ移されたが、さらに 2 代藩主忠宗公と 3 代藩主綱宗公の霊廟「善応殿」造営のため向山 4 丁目「虚空蔵堂」のある愛宕神社西端に遷されました。

(2) 「せんだい」の地名の由来

「仙臺(台)城」と改められたのは、慶長5年政宗が仙台城縄張り始め式の際で、「千代」を「せんだい」という地名は、千体観世音菩薩が祀られている「千躰堂」に由来しており、国分能登守盛重が居城となった時「千躰城」と改められ、さらに「千躰城」～「千代城」～「仙臺(台)城」となったと言われるようになり、「せんだい」の地名は千体観世音菩薩の「千躰堂」に由来すると云う。その翌年の慶長6年広瀬川に架かる橋(現在の「川内大橋」)を「仙臺橋」と名付けています。何年前だったか初詣でに仙台市民の守護神「大崎八幡宮」と仙台発展の基礎をつくった伊達政宗公の「瑞鳳殿」及び「愛宕神社」等を参拝した際、「千躰堂」の扉は通常閉じられていますが、初詣での時期は正月飾りとご開帳された「千躰堂」を初詣でができました。

(3) 青葉城について

「仙台城」は「青葉城」とも呼ばれ、青葉山は「仙台七崎」の一つ「青葉ヶ崎」といわれていたことから、別名「青葉城」とも呼ばれています。青葉山一帯や大崎八幡宮、北山五山のある青葉神社、光明寺、東昌寺、覚範寺、資福寺、輪王寺、仙台東照宮一帯は、昔「国分荒巻村」と称されていたようで、現在も青葉城のある地域の地名は、「青葉区荒巻青葉」となっているようで、また青葉神社や東昌寺、光明寺、鹿島香取神社などのある丘陵地帯は「鹿島崎」、奥州仙台東照宮のある丘陵地帯は「玉田ヶ崎」(「玉手崎」と呼んでいる文献も)と呼ばれています。

奥州仙台東照宮のある地は、天正19(1591)年6月伊達政宗が豊臣秀吉の命で「葛西・大崎一揆討伐」に出陣、同年7月3日一揆を鎮定し、このとき徳川家康は一揆討伐の視察のため岩出山に40日間逗留し、江戸へ戻る途中、伊達政宗とともに現在「奥州仙台東照宮」のある「玉田ヶ崎」に野営したことから、御祭神ゆかりの地として「仙台東照宮」の鎮座地に選び、2代藩主伊達忠宗公が守護神として「東照大権現」を祀るため、慶安2(1649)年「仙台東照宮」を造営した。この「玉田ヶ崎」に東照宮造営以前から菅原道真公を祀る「天神社」があり、仙台東照宮造営にあたり「天神社」は「玉田ヶ崎」東はずれに移転したが、その後さらに「天神社」は榴ヶ岡に遷されたのが現在の「榴岡天満宮」です。

おわりに、仙台市内には陸奥国分寺や大崎八幡宮、仙台東照宮など、また、林子平の墓のある「龍雲院」には「りんごの歌」作曲の万城目正の墓があり、仙台は「りんごの歌」発祥の地です。このように仙台は歴史的な神社仏閣などが数多くあり、散歩コースに入れてみてはいかがでしょうか・・・。

(あとがき)

会員皆様には郷土史に興味の有無があるかと思いますが。欲張らず自分の健康状態に合わせ気軽に、桜花咲く時期は「青葉城址」や「船岡城址・白石川堤防」の桜の花と蔵王連峰の残雪の素晴らしさや、紫陽花の咲く時期は仙台市青葉区北山「資福寺」、カタクリの花が咲く頃は涌谷町の「籠岳山」山頂の「籠峰寺」奥の展望台から眼下の江合川や遠く栗駒山・舟形山に見える風景や広大な大崎・栗原や登米各市の耕土は、まさに宮城県の穀倉地帯の広さには驚きです。

お勧めは、JRの駅で企画の「小さな旅」があります。これは、例えばJR仙山線北仙台駅が企画、最寄りの「北山駅」何時何分集合、その駅周辺の神社・仏閣・博物館・美術館等々をその地域のボランティアガイドの説明で、徒歩15分前後で4～5か所を探訪するものです。

JR「小さな旅」の企画内容・費用等は各駅でパンフレットを用意しています。

私も一昨年北山駅周辺、昨年は山形県天童駅周辺の神社・仏閣、旧村山郡役所・将棋博物館・広重美術館等々を前職場の仲間達と訪ねました。

テニス仲間と気楽にのんびりと「小さな旅」も良いものです。

【会員寄稿】

男の料理サークル

小谷 昭一

私が料理教室・男の料理サークルで習い始めたのは、平成15年の11月。60歳で会社を定年退職になり、仙台に戻ってきた時に奥さんが旦那にも料理を習わせ、少しは楽をしようとのことで高森市民センター主催の「男の料理教室」に応募したのが、そのきっかけです。



その時の料理教室は全3回で、定員20名で3倍近い応募があったとのこと、結構人気があった様です。その講座は12月に終わったのですが、世話好きの人がいて、今後有志で料理サークルを続けようと「男の料理サークル」が発足することになり、平成16年1月に第1回が開催されました。先生は料理教室の講師の佐藤京子先生（栄養士）にお願いし、毎月第3木曜日で時間は9:30~13:00、場所は高森市民センター調理室、会費は月2,000円ということで現在も継続中です。

メンバーは調理台の関係もあり20名が定員ですが、出入りもあり常時16名程度です。メンバーの中には料理が好きな人もいますが、私の様に奥さんの陰謀で始めた人が大半で、最初は野菜の切り方も分からず、大きじ、中さじ、小さじの区別も分からず、まして魚のおろし方も分からない状態で、先生も苦労された様です。

メニューはごはん物、主菜、副菜2品、デザートが基本で、レシピは先生が考えてこられるのですが、なにせ発足以来今年の12月で丁度10周年を迎えるサークルなので、先生も大変で、時々同じメニューが出てくるのですが、生徒の方は言われるまで気が付かなかったりします。先生もこれだけ続いているサークルは珍しいとの事で、回数も10年で120回を迎えることとなります。

最初の内は料理を作るだけだったのですが、会費が余るので幹事さんの発案で食品工場の見学や味噌づくり等をする様になり、それも長く続いている要因なのではないでしょうか。ちなみに今年の料理教室以外のイベントは「味噌作り」、餅つきと「ヨモギ餅・きなこ餅・あんころ餅作り」、「生姜がり作り」「みやぎ生協扇町工場・鐘崎工場見学」、「こんにやく作り」「暑気払い又は忘年会」と結構多彩ですね。

ただ旦那に食事を作らせようとの奥さんの思惑については、メンバーの皆さんに家で食事を作るか聞いたのですが殆どの方が作らないとの事で、残念ながらはずれですね。私も復習で作ってみようと思いましたが、レシピが無いと作れないし、レシピの食材が無いとにっちもさっちもいかず、全く応用が効かない状態でした。特にカレーを作った時はいろいろの香辛料を買い込んで、少し使っただけで後は余らせてしまいました。そういう意味ではウチの奥さんなどは有るもので何とか作るし、調味料の量も計量カップやスプーンも使わず、適当に入れてちゃんとした食事を作るのだから、その点は尊敬しちゃいますね。



ということで、「男の料理サークル」はやっぱり男の遊びにすぎなかったということで、私のテニスと同じで暇つぶしでやっている、というのが結論になりますね。

あれから16年 <MVTF 役員会と運営>

和田忠彦

懸案だったホームページ管理担当者の人選や新年度の行事開催施設確保が、関係者の並々ならぬお骨折りでやっと目途が着いた。考えてみると、MVTF 運営は会員・役員はもとより関係団体関係者の皆様に如何に支えられ今日に至っているか、つくづく有難く思うと共に、明日へ向かって明るい展望が開けた思いがする。

振り返ってみると、前運営委員長中村さんから「運営委員に」の声が掛けられ「何時も楽しい思いや元気をもらっているからお返しに」と軽い気持ちでお受けしてから16年にもなってしまった。

今、当時(1997年頃)の連盟規約を見てみると、『役員及び役員会』は、「運営委員」「幹事」「会計監事」に分けられ、運営委員の役割は、「諸活動の具体的な企画及びその実行計画を策定」し、幹事は「運営委員会から業務に精通した会員が総会で委嘱を受け実務を担当」する。会計監事は現行同様の記述となっている。当時の活動を思い出せば、実務の重要部分は、2名の幹事(競技運営担当幹事1名・事務局担当幹事1名)が担っており、私などは、行事の際のお手伝い的存在であったし、一部の役員を除いては、甚だ失礼だが似たり寄ったりの思いではなかったかと推測する。

ところが、時代は急激な高齢化社会に突入し、当テニス連盟も入会資格年齢の変更(男子45⇒60歳、女子40⇒55歳)に伴い、名称も「宮城県壮年テニス連盟」から「みやぎいきいきテニス連盟」と規約を一部改正(2003年)。運営の実務についても、幹事頼みではいかなものかの声も出始めていた。そんな時、連盟発足時から事務局業務一切を仕切ってこられた高橋幹事さんが本業退職に伴い連盟幹事も辞任されることになった。それまで幹事さんに「オンブにダッコ」といった微温湯に浸かっていた我々は、連盟創立20周年(2006年)を境にして、否応なく組織運営体制の再構築を迫られたのである。

それから3年の歳月を経て、第5回目(2009年)の規約改正が総会において決定されたのが現在の規約である。改訂規約では、幹事制を廃止し「役員会」が企画と実務を併せて運営全般を担うこととなった。この規約改正を契機に、役員会は「役員選任」についても、内規を設け「次期役員構成は現役員会の責務」と位置付け、欠員が生じた際には、まず役員会において新役員候補を推挙し、協議の結果該当候補にお願いするといった手順である。更に、申し合わせ事項『運営の指針』に「役員と役員会のあるべき姿」として、

- ①「各役員は、会員のニーズを的確に役員会に反映し、自らも『やりがい』『生きがい』『楽しさ』を感じる活動を仲間と協調して展開し、成就感を味わえるよう努力する」
- ②「役員会は、各役員の主体的・自主的意思を尊重し、適材・適所の役割分担を行い、役務の継承が円滑に行われるよう努力する」などを確認してきたところである。

現在、私たちは、連盟の名称の通り『いきいき』と活動に取り組むことで、「テニスができる喜び・生きる力」を互いに分かち合い、会則の目的に沿った活動を展開しているところであるが、その推進力となる「役員会」には、年代・性別・多彩な職歴・経験等お持ちの会員皆様のお力添えが望まれるところであり、役員の新陳代謝も活動の活性化にとっては、不可欠な要素ではないだろうか。冒頭紹介したホームページ担当を快く引き受けて頂いたKさんの様に、連盟運営に参加下さる方々の多からんことを切にご期待申し上げたい。

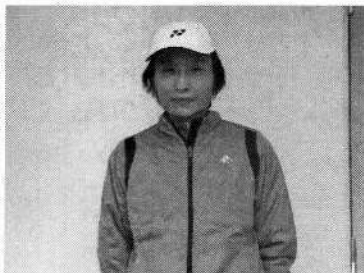
(平成26年12月記)



新入会員紹介

昨年11月15日に開催された「秋季ダブルス団体戦」にご参加頂いた新入会員の中から、次の方々に自己紹介をお願いしました。いきいきテニス連盟のこれからの飛躍の原動力となる方々です。どうぞよろしくお祈りします。(アイウエオ順)

伊藤里香



スポーツが大好きで、長男が最重度の自閉症でもやめられず、早朝5時半ころ独りサーブ練習。何日か経つと、隣のコートにいた佐々木コーチからお声をかけて頂きました。それから早何年。スポーツの良さは、目的が明確で、体調が悪い時は励ましあい乗り越える事。長男介護のため、体力向上が目的で始めたのですが、テニス仲間の皆様に色々支えて頂き、続けられております。ありがとうございます。最後になりましたが、みやぎいきいきテニス連盟のご活躍を心よりご祈念申し上げます。

門脇仁志



仙台市若林区の出身ですが、今は大崎市古川に住んでいます。定年退職後、1年間単身で沖縄生活を楽しんだ後、4月に戻って週3回テニスをしています。テニスと一緒にしている大場さんの紹介で「いきいきテニス」を始めました。これから先輩方の生き方を学びたいと思いますので宜しくお願いします。趣味は、ストレッチ・筋トレ・自転車・スイミング・調理・旅行・散歩・買い物(チラシの目玉商品チェック)です。

黒木俊光



塩釜市在住の黒木です。テニス歴は35年、今年定年となり、本格的に取り組んでいます。入会のきっかけは宮城ねんりんピックのボランティア参加と春季マスターズの試合参加でした。高齢の方のテクニックと運動量にびっくり、自分もこの様なテニスができたらと思っています。さらに、各種大会を通して連盟の方と交流を深めることができたらと考えていますので宜しくお願いします。

中武智子



私が主人の転勤で仙台に来て見つけたのが、市主催のテニス教室でした。下の子供も幼稚園に通うようになり、楽しさにはまりました！教室終了後も、サークルやスクールで汗を流しました。途中、腰痛や肘痛などもあり休み休みでしたが、今回知人からこのサークルを紹介され、皆さんが元気にイキイキとされていることに驚き、私も体をケアしながら長くやっていきたいと思いました。宜しくお願いします。

森田邦江



試合に出る約束をして二年……。今年、いきいきに入会できる年齢になりました。これからテニスのお手本となる先輩の中で、楽しみながら、一歩ずつ前進していけたらと思っています。宜しくをお願いします。

八重樫和明



この度、みやぎいきいきテニスに入会しました八重樫です。昭和19年生、70歳です。住まいは泉区明石南1丁目。4年前に定年退職し、定年後は母の介護をしまいましたが、今年7月に97歳にて永眠しました。一段落つきましたので、かねてより小谷さんより入会の誘いがありましたので入会となりました。健康第一にをモットーにテニスを楽しんで参りたいと思いますので宜しくをお願いします。

渡部みどり



いきいきテニスに加えて頂きありがたく思っています。初めての月例大会に参加させて頂いた時は、知っている人に声をかけて頂いたり、ゲームのお仲間に入れて頂いたりと……。楽しい いき^{いき}・生・人生テニス・初回でした。これから先も、みな様よろしくお願ひ致します。

事務局からのご連絡

○入・退会の手続きについて

入会希望者は、当連盟の事務局または役員に連絡して「入会申込書」と専用の「年会費振込票」を入手し、申込用紙に必要事項を記入して、事務局または役員に送付（直接手渡し可）すると共に、振込票にて年会費（個人会員：2,000円、家族会員：3,000円）を郵便局から振り込んで下さい。年会費を振り込まれた方には、事務局より当年度の「会報」（含む、年間行事予定表・各種大会申込用ハガキ）、会員名簿等を送付します。これで入会手続きが完了です。

退会したい場合は、ハガキまたはFAXにて事務局または役員に退会する旨連絡して下さい。

○年会費納入について

年会費は、この会報が届き次第忘れない内に専用の「年会費振込票」にて納入をお願いします。年会費納入の有無確認手続き上、必ず「振込票」にてお願いします。現金での手渡しや会員の通帳から電信などでの連盟への振込みは行わないで下さい。納入締切日（9月末日）を過ぎても振込みがない場合は、退会扱いとなりその後の連盟主催の各種行事に参加できません。また、連盟からの連絡事項や次年度の「会報」等送付されません。納入締切日迄に忘れずに納入して下さい。

「年会費振込票」は、各会員に会報に同封しておりますが、万一同封されていない時、あるいは紛失した場合には、事務局宛または役員に連絡して下さい。また納入したかどうか忘れた方は事務局に問い合わせ確認して下さい。また振込みをした時の「受領書」は、間違い（手違い）を防ぐため1年間は保存して下さい。

[逝去された会員]

藤田 吉雄様

謹んでご冥福をお祈りいたします。

諸行事案内と参加申込み方法

当連盟主催の行事は、二つに大別されます。「予め参加申込みの必要な大会」と、その必要のない「月例シニアテニス競技大会」です。これら「年間の諸行事」等のうち、申込締切りが本会報の発行前となる大会については、「年度初めの行事予定」と「大会要項」を、3月末日総会のご案内時にお知らせいたします。

総会において、「年間の諸行事」「大会要項」が確認・決定されます。この結果を会報の「年間の諸行事予定」「大会要項」「参加申込ハガキ」としてお届けいたします。

予め参加申込みの必要な大会に参加の方法は、大会要項をよくご覧になり、行事名・開催期日・会場・時間・参加費・申込み方法・申込締切日等を確認のうえ、連盟用「申込ハガキ」（52円切手を貼る）又は「官製ハガキ」に必要事項を記入して、必ず締切期日までに届くよう投函して下さい。

1. 予め参加申込みの必要な大会

これらの大会には、次に示すように、原則としてパートナーと「ペア」で申込む大会と、「単独」で申込む大会がありますので、各大会の要項をよく見て申込んで下さい。

単独で申込む大会の場合の組分けやペアは、年令や技量を勘案して役員会で決めます。

○年齢別ダブルス大会【ペア】	○秋季ダブルス団体戦【単独】
○混合ダブルス大会【ペア】	○冬季混合ダブルス大会【単独】
○技量別ダブルス大会【ペア】	○年齢別室内ダブルス大会【単独】
○宮城県テニスマスターズ春季・秋季大会【ペア】	○春季ダブルス団体戦(総会)【単独】
○東北マスターズテニス大会【ペア】	○県南・県北ブロック交流会【単独】
	○対いわき VTC 親善交流大会【単独】

- ◇ 各行事の申込締切日は、それぞれの「年間行事予定表」や「大会要項」に記載されていますので、忘れないようご注意ください。
- ◇ 参加、不参加の混乱を避けるため、申込みは、ご本人が連盟用「申込ハガキ」で行なって下さい。家族会員の方は連名で結構です。
- ◇ 雨天等で開催期日または会場が変更された場合等のご案内は、別途お知らせします。

2. 月例シニアテニス競技大会

月例シニアテニス競技大会は、従来どおり自由参加とし、時間は、午前10時から午後5時(6月～10月)、(4月～5月は午後4時)、(11月～12月は午後3時)までです。都合の良い時間にお誘い合わせの上ご参加下さい。尚、未入会の方は参加時に入会の手続きをとって下さい。

会場は、「年間行事予定表」に示してある通り、2つの会場を使用します。

参加費は500円です。尚、試合方法は、連盟の趣旨「会員相互の交流・親睦を深め、健康の維持増進に努める」を踏まえ、試合毎に出来るだけパートナーや対戦相手を変える方法で行なうようご協力をお願いします。新入会員の方や会員に知り合いの少ない方、体力や技量などに少々自信がなくて知らない人との試合はどうも・・・と思っている方も、気楽に参加して下さい。パートナーや対戦相手で不安が有りましたら、当日の担当役員に申し出て下さい。出来るだけ意に沿うように努めたいと思います。

3. 連盟主催の大会の他に、宮城県テニス協会・東北テニス協会が主催する大会

詳細については、県テニス協会(ホームページ)、東北テニス協会(ホームページ)を参照して下さい。または、青木興一(県テニス協会常任理事：電話251-6411)まで、お問合せ下さい。

平成27年度年間行事予定

開催日	行事名	会場	申込締切日
4月17日(金)	県南ブロック交流会	グリーンピア岩沼	3月26日締切済
4月23日(木)	月例シニアテニス競技大会	七北田公園コート(6面)	—
5月16日(土)	年齢別ダブルス大会	七北田公園コート(8面)	5月6日必着
5月27日(水)	月例シニアテニス競技大会	七北田公園コート(6面)	—
6月9日(火)	月例シニアテニス競技大会	七北田公園コート(6面)	—
7月8日(水)	月例シニアテニス競技大会	七北田公園コート(6面)	—
7月18日(土)	混合ダブルス大会	七北田公園コート(8面)	7月8日必着
8月10日(月)	月例シニアテニス競技大会	泉パークタウンTC(6面)	—
8月22日(土)	技量別ダブルス大会	七北田公園コート(8面)	8月12日必着
9月3日(木) 4日(金)	対いわきVTC親善交流大会 (いわきVTC主催)	いわき市	7月20日必着
9月16日(水) 17日(木)	第25回東北マスターズテニス 宮城大会	泉総合(16日16面/17日18面) シェルコム(16日:6面)	7月1日必着
9月25日(金)	月例シニアテニス競技大会	七北田公園コート(6面)	—
10月15日(木)	月例シニアテニス競技大会	七北田公園コート(6面)	—
10月29日(木)	県北ブロック交流会	松島運動公園コート(4面)	10月19日必着
11月4日(水)	月例シニアテニス競技大会	七北田公園コート(6面)	—
11月14日(土)	秋季ダブルス団体戦	七北田公園コート(8面)	11月4日必着
12月1日(火)	月例シニアテニス競技大会	七北田公園コート(6面)	—

平成28年

1月13日(水)	冬季混合ダブルス大会	シェルコムせんだい	1月3日必着
2月12日(金)	年齢別室内ダブルス大会	シェルコムせんだい	2月2日必着
3月25日(金)	春季ダブルス団体戦(総会)	シェルコムせんだい	3月15日必着

平成27年度 県・市大会予定

開催日	行事名	会場	申込締切日
4月26日(日)	宮城県テニスマスターズ春季大会 兼ねんりんピック山口大会選手選考大会	シェルコムせんだい	4月16日必着
10月11日(日)	仙台市高齢者生きがい健康祭	七北田公園コート(8面)	9月18日必着
10月31日(土)	宮城県テニスマスターズ秋季大会 兼ねんりんピック長崎大会選手選考参考大会	七北田公園コート(8面)	10月21日必着

※宮城県テニスマスターズ春季大会は、マスターズ兼第28回ねんりんピック山口大会の選手選考大会です。

※仙台市高齢者生きがい健康祭は、第29回ねんりんピック長崎大会の選手選考大会です。

※宮城県テニスマスターズ秋季大会は、マスターズ兼第29回ねんりんピック長崎大会の選手選考参考大会です。

平成27年度 各種ダブルス大会開催要項-1

年齢別ダブルス大会	混合ダブルス大会
<p>期日 : 平成27年5月16日(土) 9:00~17:00 8:45分まで集合</p> <p>会場 : 七北田公園コート(8面)</p> <p>種目 [女子] 110以上、120以上、130以上、135以上 [男子] 120以上、130以上、140以上、150以上</p> <p>平成27年12月31日現在のペア合計年齢とします</p> <p>試合方法 : 各種目とも原則としてラウンドロビン方式</p> <p>参加費 : 1200円/人(当日会場にて徴収します)</p> <p>表彰 : 各種目毎に優勝、準優勝、3位まで表彰します 但し、参加組数により変わります。 入賞者を除きお楽しみ抽選があります。</p> <p>参加申込 : 所定の「申込ハガキ」あるいは「官製ハガキ」にパートナー等、必要事項を明記して申し込んで下さい。過去に優勝した組に加え優勝経験者個人同士もパートナーを替えるか、若い年齢種目に出場してください。(期間は5年間です) 尚、単独での申込みも可ですが、パートナーはご一任下さい。</p> <p>申込受付 : 4月16日~ 締切日:5月6日必着</p>	<p>期日 : 平成27年7月18日(土) 9:00~17:00 8:45分まで集合</p> <p>会場 : 七北田公園コート(8面)</p> <p>種目 : 混合ダブルス Aクラス Bクラス Cクラス</p> <p>試合方法 : 各種目とも原則としてラウンドロビン方式</p> <p>参加費 : 1200円/人(当日会場にて徴収します)</p> <p>表彰 : 各種目毎に優勝、準優勝、3位まで表彰します 但し、参加組数により変わります。 入賞者を除きお楽しみ抽選があります。</p> <p>参加申込 : 所定の「申込ハガキ」あるいは「官製ハガキ」に必要事項を明記して申し込んで下さい。過去に優勝した組に加え優勝経験者個人同士もパートナーを替えるか、上位のクラスに出場してください。(期間は5年間です) 尚、単独での申込みも可ですが、パートナーはご一任下さい。</p> <p>申込受付 : 6月18日~ 締切日:7月8日必着</p>
技量別ダブルス大会	秋季ダブルス団体戦
<p>期日 : 平成27年8月22日(土) 9:00~17:00 8:45分まで集合</p> <p>会場 : 七北田公園コート(8面)</p> <p>種目 : 技量別ダブルス [女子] Aクラス Bクラス Cクラス [男子] Aクラス Bクラス Cクラス</p> <p>試合方法 : 各種目とも原則としてラウンドロビン方式</p> <p>参加費 : 1200円/人(当日会場にて徴収します)</p> <p>表彰 : 各種目毎に優勝、準優勝、3位まで表彰します 但し、参加組数により変わります。 入賞者を除きお楽しみ抽選があります。</p> <p>参加申込 : 所定の「申込ハガキ」あるいは「官製ハガキ」に必要事項を明記して申し込んで下さい。過去に優勝した組に加え優勝経験者個人同士もパートナーを替えるか、上位のクラスに出場してください。(期間は5年間です) 尚、単独での申込みも可ですが、パートナーはご一任下さい。</p> <p>申込受付 : 7月22日~ 締切日:8月12日必着</p>	<p>期日 : 平成27年11月14日(土) 9:00~17:00 8:45分まで集合</p> <p>会場 : 七北田公園コート(8面)</p> <p>種目 : 女子・男子・混合のダブルスによる団体戦</p> <p>試合方法 : 参加者全体を4チームに分けて、女子、男子、混合の各ダブルスパアをつくり種目毎の団体戦を行います。</p> <p>参加費 : 1000円/人(当日会場にて徴収します)</p> <p>表彰 : 各チーム毎の成績を集計し、優勝、準優勝、敢闘賞の順に表彰、賞品の授与があります。</p> <p>参加申込 : 所定の「申込ハガキ」あるいは「官製ハガキ」に必要事項を明記して申し込んで下さい。 (単独申込となります)</p> <p>申込受付 : 10月14日~ 締切日:11月4日必着</p>

平成27年度 各種ダブルス大会開催要項ー2

冬季混合ダブルス大会	年齢別室内ダブルス大会
<p>期日：平成28年1月13日(水) 9:00～16:00 9:00分まで集合</p> <p>会場：シェルコムせんだい(6面)</p> <p>種目：混合ダブルス Aクラス Bクラス Cクラス</p> <p>試合方法：各種目とも原則としてラウンドロビン方式 パートナーは1回ごとに変わるものとします。 尚、パートナーは役員会にご一任ください。</p> <p>参加費：700円/人(当日会場にて徴収します) (賞品はありません)</p> <p>参加申込：所定の「申込ハガキ」あるいは「官製ハガキ」に種目区分を明記し単独で申し込んで下さい (単独申込となります)</p> <p>申込受付：12月13日～ 締切日:1月3日 必着</p>	<p>期日：平成28年2月12日(金) 9:00～16:00 9:00分まで集合</p> <p>会場：シェルコムせんだい(6面)</p> <p>種目 [女子]55歳以上、60歳以上、65歳以上 [男子]60歳以上、65歳以上、70歳以上 [平成28年4月1日現在の満年齢とします]</p> <p>試合方法：各種目とも原則としてラウンドロビン方式 パートナーは1回ごとに変わるものとします。 尚、パートナーは役員会にご一任ください。</p> <p>参加費：700円/人(当日会場にて徴収します) (賞品はありません)</p> <p>参加申込：所定の「申込ハガキ」あるいは「官製ハガキ」に種目区分を明記し単独で申し込んで下さい (単独申込となります)</p> <p>申込受付：1月12日～ 締切日:2月2日 必着</p>
春季ダブルス団体戦(総会)	対外部関係大会
<p>期日：平成28年3月25日(金) 9:00～16:00 9:00分まで集合</p> <p>会場：シェルコムせんだい(6面)</p> <p>種目：女子・男子・混合のダブルスによる団体戦</p> <p>試合方法：参加者全体を4チームに分けて、女子、男子、混合の各ダブルスペアをつくり種目毎の団体戦を行います。 尚、当日連盟の総会が開催されますので多くの方々のご参加をお願いします。</p> <p>参加費：500円/人(当日会場にて徴収します)</p> <p>参加申込：所定の「申込ハガキ」あるいは「官製ハガキ」に必要事項を明記して申し込んで下さい。 (単独申込となります)</p> <p>申込受付：2月25日～ 締切日:3月15日 必着</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;"> 対いわきVTC親善交流大会 </div> <p>期日：9月3日(木)～4日(金)</p> <p>会場：いわき市</p> <p>締切：7月20日(月)</p> <p style="text-align: center;">いわきVTC主催で開催されます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;"> 第25回東北マスターズテニス宮城大会 </div> <p>期日：9月16日(水)～17日(木)</p> <p>会場：仙台市泉総合運動場 泉庭球場・シェルコムせんだい</p> <p>締切：7月1日(水)</p> <p style="text-align: center;">詳細決まり次第ご連絡差し上げます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;"> 県北ブロック交流会 </div> <p>期日：10月29日(木)</p> <p>会場：松島運動公園テニスコート</p> <p>締切：10月19日(月)</p>

平成26年度行事实績

期 日	行 事 名	会 場	参加者	
			26年度	25年度
4月24日(木)	月例シニアテニス競技大会	七北田公園	64	47
5月17日(土)	年齢別ダブルス大会	七北田公園	80	80
5月28日(水)	月例シニアテニス競技大会	七北田公園	66	67
6月10日(火)	月例シニアテニス競技大会	泉総合運動場	31	48
7月 9日(水)	月例シニアテニス競技大会	七北田公園	31	42
7月19日(土)	混合ダブルス大会	七北田公園	雨天中止	70
8月11日(月)	月例シニアテニス競技大会	泉パークタウン	55	70
9月13日(土)	技量別ダブルス大会	七北田公園	70	72
9月26日(金)	月例シニアテニス競技大会	七北田公園	68	47
10月16日(木)	月例シニアテニス競技大会	七北田公園	54	31
11月 5日(水)	月例シニアテニス競技大会	泉総合運動場	53	45
11月15日(土)	秋季ダブルス団体戦	七北田公園	83	83
12月 1日(月)	月例シニアテニス競技大会	七北田公園	雨天中止	44
1月14日(水)	冬季混合ダブルス大会	シェルコム	60	49
2月13日(金)	年齢別室内ダブルス大会	シェルコム	61	54
3月26日(木)	春季ダブルス団体戦・総会	シェルコム	100	91

対外関係行事实績

期 日	行 事 名	会 場	参加者	
			26年度	25年度
4月18日(金)	県南ブロック交流会	グリーンピア岩沼	42 (県南16,仙台26)	46 (県南13,仙台33)
4月27日(日)	県テニスマスターズ 春季大会	シェルコム	54(合計70)	58(合計78)
8月28日(木)	県北ブロック交流会	松島運動公園	52 (県北24,仙台28)	64 (県北21,仙台43)
9月 4日(木) 5日(金)	対いわきVTC親善交流大会	グリーンピア岩沼	いわき(17) みやぎ(35)	いわき(30) みやぎ(16)
10月 2日(木) 3日(金)	東北マスターズテニス 山形大会	山形県総合運動場 (天童市)	男子18、女子16	男子17、女子15
10月27日(日) 28日(月)	第27回ねんりんピック 栃木大会	栃木市総合運動公園	県5、市6 (いきいき会員)	県2、市3 (いきいき会員)
11月 1日(土)	県テニスマスターズ 秋季大会	七北田公園	48(合計72)	39(合計56)

平成26年度総会報告

副会長 奈良 征一郎

「シェルコムせんだい」で、3月26日昼食時間を利用して約50分で開催しました。

総会参加者は100名、委任状提出者45名と多くの参加者で盛会でした。

和田会長の挨拶に始まり、各担当部長の説明で審議が行われ、参加者の承認を頂きましたので報告いたします。詳細は〈会報#46号〉を熟読頂き、ご理解とご協力をお願いします。

会長挨拶では、「平成26年度は2大会が雨天のため中止になりました」「役員交代を実施し、新役員3名を指名しました」「役員全員の協力で会員のため努力します」、今年は「第25回東北マスターズテニス宮城大会を主管します」などの報告がされました。

総会終了後、「春季ダブルス団体戦」の午後の部を続行し、予定通り楽しく終了できました。

平成26年度決算

平成27年度予算

みやぎいきいきテニス連盟規約

<総 則>

第1条 (名 称)

本会は、みやぎいきいきテニス連盟と称する。

第2条 (会 員)

本会は、次に掲げる正会員、特別会員及び賛助会員を以て構成する。

- ・正会員：宮城県内に居住または勤務する、男子60歳以上、女子55歳以上のテニス愛好者とする。但し、正会員が県外に転出した場合は、本人の希望により正会員の資格を継続することが出来る。
- ・特別会員：正会員の中で80歳以上の会員を特別会員とする。
- ・賛助会員：本会の趣旨に賛同し、本会の活動を支援する個人及び団体とする。

第3条 (目 的)

本会は、テニスを通じて会員の健康増進と相互の友好を図ることを目的とする。

第4条 (活動内容)

本会は、その目的を果たすため次の活動を行う。

- (1) テニス大会
- (2) テニス練習会
- (3) 会報の発行
- (4) その他、本会の趣旨に沿い役員会にて企画されたこと。

<会 計>

第5条 (事業年度)

本会の事業年度は、4月1日に始まり翌年の3月末日に終わる。

第6条 (活動費)

本会活動に必要な経費は、正会員が納める年会費と、大会・練習会ごとに徴収する参加費及びその他の寄付金を以てあてる。

第7条 (会 費)

正会員は、年会費を納めなければならない。但し、特別会員は、これを免除される。年会費は、総会で定める。

第8条 (予算・決算)

役員会は、年度末に翌年度における諸活動の実行計画及びそれに伴う予算案、並びに当年度の決算案を作成し、総会の承認を得なければならない。

第9条 (緊急・臨時支出)

当年度の予算案に提示されていない緊急・臨時の費用については、役員会の議を経て支出することが出来る。但し、この場合においては次の総会に報告し、総会の承認を得なければならない。

第10条 (会費納入期限)

会費の納入期限は、毎年9月末とする。納入なき場合は休会扱いとし、以後の通信連絡は行なわない。年度内に納入なき場合は退会扱いとする。

<役員・役員会・総会>

第11条 (役 員)

本会の活動を組織的に実行するために必要数の役員を置く。役員の任期は2年とし、前年度の総会において選出する。再任または重任は妨げない。各役員は、第12条に示す会務に就く。

- ・会 長：役員互選によって会長1名を選出する。会長は本会を代表すると共に、第12条に定める役員会を招集しその議長となる。
- ・副会長：副会長は、役員の中から1ないし2名を会長が指名する。副会長は会長を補佐し会長に事故ある時はその役を代行する。
- ・会計監事：2名の会計監事を前年度の総会において選出する。会計監事は会計役員が行う業務の監査を行う。任期は2年とし、再任または重任は妨げないが、原則として引き続いて3年を超えることは出来ない。

第12条 (役員会)

役員会は、役員会で定めた専門部と事務局を以て構成し、本会の諸活動を具体的に企画実施するための協議を行うと共に会務を掌理する。

第13条 (総 会)

総会は、全会員で構成し、本会の活動方針の大綱を定め、役員会が提示する活動計画案・予算案・活動報告案及び決算案を審議する。総会は会員の十分の一以上の出席によって成立する。なお、委任状を以て出席に代えることが出来る。

第14条 (事務局)

本会の事務を処理するために事務局を置く。事務局は、会員の動向・連絡調整・会計等の任務を掌理する。事務局所在地は、事務局(長)担当者宅とする。

<付 則>

第15条 本規約に定める他、本会の具体的な企画実施に必要な細則は役員会で定めるものとする。

第16条 本規約の改正は総会の議決による。

<細 則>

第17条 平成14年12月現在、60歳未満の男子会員及び55歳未満の女子会員は正会員として当連盟に留まることが出来る。年齢別大会等の実施内容については、その時点の状況を考慮して、役員会において検討を行い善処する。

(平成 8年 3月26日一部改正)

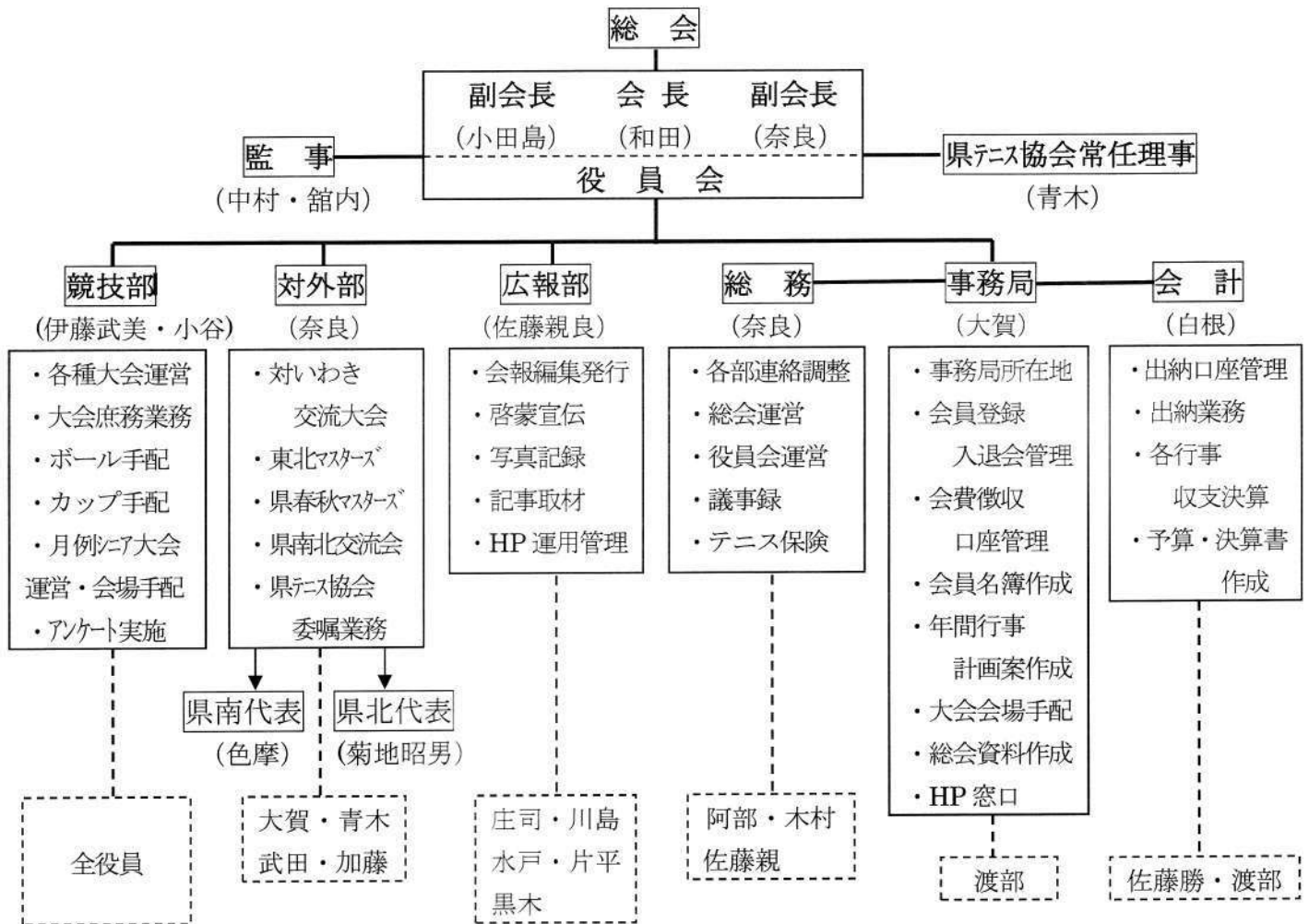
(平成 9年12月 6日一部改正)

(平成14年12月 7日一部改正)

(平成15年12月 6日一部改正)

(平成21年 1月 9日一部改正)

平成27年度みやぎいきいきテニス連盟組織体制



*新役員は、菊地昭男、片平信行、黒木俊光です。どうぞよろしくお願ひします。

編集後記

会報46号を、予定通り皆様のお手元にお届けすることができ、役員一同ご協力に感謝申し上げます。いかがでしたでしょうか？ 限られたスペースでの活動報告ですが、小さな写真や短い言葉の向うに、皆様の一年間の充実したテニスライフを感じていただけたと思います。

また、このたびも素晴らしい寄稿をご紹介できました。楽しく、興味深く読まれたのではないのでしょうか。意外な一面を拝見することで、コートで一緒した時の深い穴(?)は絶対なくなります！楽しさも倍増します！

このような広報活動へのご協力、そして会長寄稿にもありますように、「いきいき」とした皆様の連盟運営へのお力添え、ご参加を、お願い申し上げます。

ホームページも、担当者の努力により、リアルタイムな情報をお届けできたと思います。今後とも乞うご期待です。(T.K 記)

編集発行 みやぎいきいきテニス連盟役員会

印刷 (株)仙台紙工印刷
〒983-0036 仙台市宮城野区苦竹 3-1-4
電話 022-231-2245
[URL] <http://sendai-shiko.jp/>